

# 白帯歓迎!! CGI道場

著者：KENT

1959年生まれ。自作CGIスクリプトの配布をメインとするインターネットページ制作の支援サイト「KENT WEB」管理者。静岡県静岡市在住。

www.kent-web.com

illustration : Ebisu Yoshikazu



## 第3回 オリジナル掲示板に挑戦! (前編)

第3回の課題は、CGIとHTMLの関係をおぼろげながらもつかむことだ。そのうえで、ホームページに「掲示板」を設置してみよう。掲示板の設定や運営は複雑なので、設置をメインにした「前編」と、改造をメインにした「後編」に分けて解説しよう。

### 1 基礎練習も忘れるべからず 掲示板を設置しよう

#### オリジナル掲示板で 差を付ける

数あるCGIの中で、一番人気があるのはやはり掲示板だ。諸君も力が付いてきたと思うので、今回は掲示板に挑戦してみよう。通常のHTMLでは「情報」は一方通行だが、掲示板では、管理者と訪問者、あるいは訪問者同士でコミュニケーションが図れるのが特徴だ。また、掲示板があることで、訪問者がサイトの感想や意見を伝えやすくなり、結果

として管理者が訪問者の反応を敏感に知ることができる。

ホームページ管理者として、訪問者の反応をより多く知ることは、運営上とても大切なことであり、ひいてはそれがホームページ作成の励みともなるだろう。

今月は「前編」として、基本的な掲示板の設置を中心に解説しよう。さらに次回の「後編」では、掲示板を改造して応用的な使い方も学習することにする。

#### サンプル掲示板の 基本設定

まず、本誌付属のCD-ROMのサンプルファイルをPCへコピーする。ウィンドウズの場合は、コピーしたあとに「読み取り専用」のファイル属性を解除する必要があるのだから「ファイルを右クリック」「プロパティ」「読み取り専用」のチェックをはずす。

#### 掲示板の設置作業 その1

ここまでの作業が完了したら「秀丸エディタ」などのテキストエディターで「wbbs.cgi」を開いてみよう。下で解説する「基本設定」を修正したら「秀丸エディタ」で「ファイル」「保存して終了」をクリックして上書き保存しよう。

wbbs.cgiの1行目を変更する

```
1 #!/usr/local/bin/perl
2
3 #
4 # WEB BOARD v1.0 (2001/07)
5 # Copyright (C) Kent Web 2001
```

「wbbs.cgi」の1行目、「Perlのパス」をプロバイダーから指定されたパスに書き換えよう。



ソフトウェアの収録先

秀丸エディタ [A] Win HIDE MARU  
FFFTP [A] Win FFFTP  
Jedit [A] Mac Jedit  
Fetch-J [A] Mac Fetch-J

CGIサンプルの収録先

[A] Magnavi Ip0109 Cgi

wbbs.cgiの28~85行を以下のように設定する

```

28 #=====#
29 # 基本設定 #
30 #=====#
31
32 # 文字コード変換ライブラリ取り込み
33 require './jcode.pl';
34
35 # タイトル名
36 $title = "掲 示 板"; ①
37
38 # スクリプト名
39 $script = './wbbs.cgi';
40
41 # ログファイル名
42 $logfile = './wbbs.log';
43
44 # 管理用パスワード
45 $pass = "0123";
46
47 # 最大記事数 (これを超える記事は古い順に削除されます)
48 $max = 50;
49
50 # 戻り先
51 $home = "../index.html"; ②
52
53 # bodyタグ
54 $body = '<body background="" bgcolor="#FFFFFF" text="#000000 "
link="#0000FF" vlink="#0000FF" alink="#FF0000">'; ③
55
56 # 1 ページあたりの記事表示件数
57 $p_log = 5;
58
59 # ファイルロック
60 # 0=no 1=yes
61 $lockkey = "0";
62
63 # ロックファイル名
64 $lockfile = './lock/wbbs.lock';
65
66 # 題名部文字の色
67 $sub1_col = "#FFFFFF"; ④
68
69 # 題名部下地の色
70 $sub2_col = "#535353"; ⑤
71
72 # 題名部ポインタの色
73 $sub3_col = "#FCC22C"; ⑥
74
75 # 掲示板下部の一言メッセージ
76 $sub_msg = <<'EOM';
77 <!-- ここから -->
78 私のホームページへお越し頂きありがとうございます。<br>
79 どうぞ感想などを一言お願いします。
80 <!-- ここまで -->
81 EOM
82
83 #=====#
84 # 設定完了 #
85 #=====#

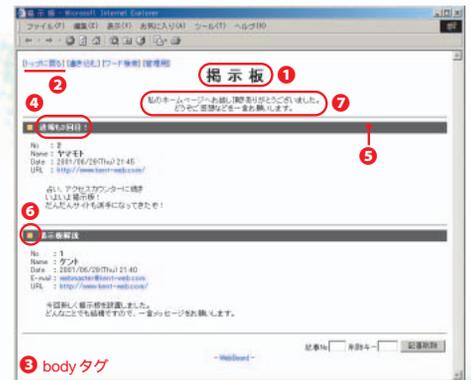
```

わかりやすいように、CGIスクリプトに行番号を付けてある。「秀丸エディタ」など、行番号を表示する機能を持つエディターなら、それを参照しよう。

掲示板の管理を行う「管理モード」に入るためのパスワード。ここではできるだけ複雑なパスワードを半角英数字で指定しよう。

ここは「1」にしておこう。2つ以上の記事投稿が、たまたま同じタイミングで重なったときに記録ファイルが破損することがある。ロックファイルとは、これを防止する機能だ。

実際に反映されている場所



CGIファイルを変更すると、それぞれ丸数字の場所に反映される。たとえば、①を変更すれば、掲示板のタイトルを変えられる。

### 設定場所の解説

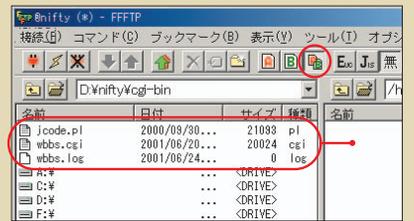
- ① 掲示板の「タイトル」を指定するところ。好きなタイトルに変更しよう。
- ② 掲示板からの戻り先を指定するところ。http://から記述してもよい。
- ③ よく見ると、見慣れたタグが書かれている。この部分が掲示板の「bodyタグ」になる。
- ④ 書き込みの「タイトル部分」の文字の色を16進数で指定する。よくわからないならこのままにしておこう。
- ⑤ 書き込みの「タイトル部分」のバーの色を16進数で指定する。よくわからないならこのままでOKだ。
- ⑥ 書き込みの「タイトル部分」にある「ポインタ( )」の色を16進数で指定する。よくわからなければこのままでもいいし。
- ⑦ タイトル下のメッセージを指定するところだ。よくわからない人はこのままで大丈夫だ。

## 掲示板の設置作業 その2

「wbbs.cgi」の設定を修正したら、次は設置作業だ。この作業はFTPクライアントを使って行う。まず最初に、CGIを設置するフォル

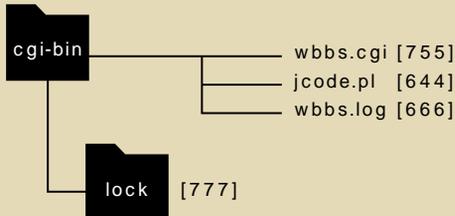
ルダを確認しよう。CGIファイルをどこに置いてよいプロバイダーもあれば、@niftyのように「cgi-bin」フォルダーでなければならぬところもあるので注意する。

### アップロード



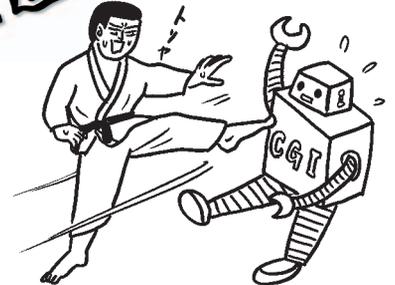
@niftyの例だと、「cgi-bin」フォルダーに「wbbs.cgi」「jcode.pl」「wbbs.log」の3ファイルを「アスキーモード」で転送する。

### パーミッションの設定



FTPクライアントの機能を使ってそれぞれのパーミッションを「wbbs.cgi」は「755」に、「jcode.pl」は「644」に、「wbbs.log」は「666」に設定する。次に「cgi-bin」フォルダーの下に「lock」フォルダーを作成し、パーミッションを「777」に設定する。

白帯歓迎!!  
CGI道場



## 2 意外にカンタン!? でも油断は禁物だ 掲示板を動かそう

### ブラウザーで 動作を確認しよう

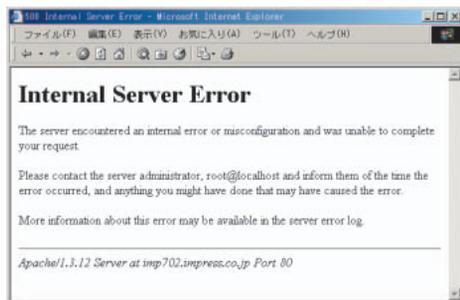
ここまでの作業が終了したら、次はアップロードしたCGIの動作を確認しよう。「wbbs.cgi」をブラウザーから直接呼び出して、下のように表示されれば設置は完了だ。うまく表示されない場合は、「Perlのパス」や「アップロード先のフォルダー」が正しいかを確認しよう。

掲示板にアクセスするCGI (@niftyの場合)

[http://hpcgi?.nifty.com/\\*\\*\\*\\*/wbbs.cgi](http://hpcgi?.nifty.com/****/wbbs.cgi)

URL中の「?」には、「http://homepage?.nifty.com」のサブドメインに付く数字が入る。「\*\*\*\*」には、ホームページ領域のID名が入る。

(失敗だああ...)



「Perlのパス」が間違っていると、このようなエラーが表示される。慣れてくると、凡ミスしやすいところなので注意。プロバイダーを引越したときも、設定を直し忘れることが多い箇所だ。

設置完了



この画面が表示されれば、設置完了だ。CGIファイルで、タイトルなどを変えたときは、意図したものになっているかどうかをチェック。

# 3 コミュニティの難しさは日々の運営にあり 掲示板を運営しよう

## テストをしたら いよいよ完成だ

設置した掲示板に、記事を書き込んでみよう。新規に書き込むには、掲示板上部メニュー

の「書きこむ」をクリックして、投稿フォームから投稿する。

今回のコーナーで紹介する掲示板は、シンプルだが、基本的な機能を十分に備えた掲示

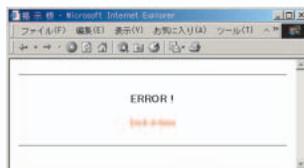
板で、さまざまな使い方に対応しているものだ。サイトへの訪問記念に足跡を残すゲストブック、あるテーマについて意見交換を行う掲示板、新着情報を告知する新着ボードなど、いろいろな使い方があるはずだ。

次回（後編）は、この掲示板の改造やアレンジに挑戦しよう。

### テスト書き込み

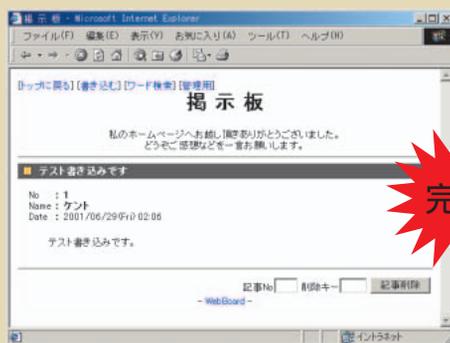


入力項目が7か所があるが、必須の入力項目は「おなまえ」と「メッセージ」の2か所。あとで「管理モード」で削除できるので、投稿フォームに適当なメッセージを入れて記事を投稿してみよう。



### （失敗だああ...）

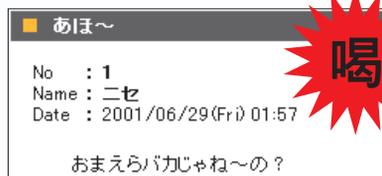
「LOCK IS BUSY」というエラーが表示されるときは、「lock」フォルダーが作成されていないか、「lock」フォルダーのパーミッションが「777」に設定されていない可能性があるのをチェックする。それでもうまくいかない場合は、「wbbs.cgi」の61行目にある「ファイルロック」を「0」にしてみよう。



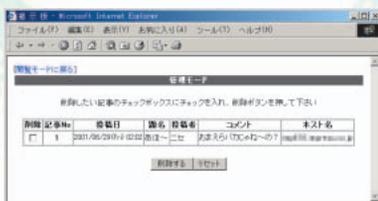
完成

テストで書き込んだとおりに表示されたら、掲示板は完成だ。サイトのトップページからリンクを張って公開しよう。

## フドキ者は管理モードで成敗！



レンタル掲示板などを使って、すでに掲示板を運営している人は体験しているかもしれないが、訪問者の中には、不愉快な発言を繰り返す「荒らし」と呼ばれる者がいる。



こんなときは、掲示板の管理者機能を使い、荒らしの書き込みを削除しよう。投稿者のホスト名も記録されているので、荒らしが続く場合は、投稿者が利用しているプロバイダーに連絡しよう。

## 来たれ！ 道場破り

今回のCGIスクリプトの「掲示板」をカスタマイズして、きれいな掲示板を送ってほしい！ あて先は「imgcgi@impress.co.jp」だ。こちらにURLを書いて送るべし。優秀なサイトは誌面で紹介するぞ！



サンプルスクリプト「wbbs.cgi」についての注意

- これらのCGIスクリプトはフリーソフトとして使うことができます。
- 詳細な利用規定については下の「利用規定」を読んでください。

[www.kent-web.com/pubcc/kitei.html](http://www.kent-web.com/pubcc/kitei.html)

今回のCGIは、設置より運用のほうが難しいかもしれない。今回は、このスクリプトをさらに改造するぞ！

## 次回は「掲示板（激しく改造）」に挑戦だ！

つづくうう



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)